

(別記様式1)

特定間伐等促進計画

〇〇県 〇〇市
※複数市町村による連名可
〇年〇月

1 特定間伐等促進計画の目標

森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法第4条第1項の規定により定められた県の基本方針によると、令和3年度から令和12年度までの10年間の特定間伐等の実施の促進の目標として、〇〇〇〇h a（年平均〇〇〇h a）の間伐の実施を掲げている。

県の基本方針や本市の間伐の実施状況を勘案して、令和3年度から令和12年度までの10年間で〇〇〇〇h a（年平均〇〇〇h a）の間伐を行うことを、本〇〇市特定間伐等促進計画の目標とする。また、主伐後の確実な再生林を中心とした造林の実施を促進する。

2 特定間伐等促進計画の区域

県の基本方針に定められた、特定間伐等の実施を促進するための措置を講ずべき区域の基準に従い、本市の特定間伐等促進計画の区域の範囲を別図のとおりとする。

注1) 国土地理院1/25000地勢図相当又は1/5000森林基本図の図面に図示する。

注2) 特定間伐等促進計画の区域としては、特定間伐等の事業を実施する区域だけではなく、基本方針において示された考え方に即して、特定間伐等を実施することが適当と認められる区域を幅広く設定することとし、地形図等を用いて当該区域の概略を示す。

この際、人工林を厳密に拾う必要はなく、介在的な天然林を含め、間伐及び造林が必要な範囲について面的に区域を設定する。

3 特定間伐等の実施計画

(1) 間伐

事業実施主体	事業実施年度	所在場所				間伐を実施する 森林の現況				間伐の 内容			対図番号又は林小班名	交付金希望	備考
		都道府県	市町村(郡)	字(大字)又は林班	地番又は林小班	面積	樹種又は林相	林齢	立木材積	間伐の方法	間伐立木材積	間伐率(材積率)			

※ 枚数が多くなる場合は、別紙としても可。以下の(2)～(6)も同じ。

※ 間伐と一体的に実施する他の作業種については、備考欄に記載する。

(2) 造林

事業実施主体	事業実施年度	所在場所				造林の内容							対図番号又は林小班名	交付金希望	備考	
		都道府県	市町村(郡)	字(大字)又は林班	地番又は林小班	造林面積	うち人工造林				うち天然更新					
							植栽面積	植栽時期	植栽樹種	植栽本数	天然更新面積	天然更新時期				天然更新樹種

※ 人工播種による人工造林の場合は、人工播種による面積、時期、樹種、本数を備考欄に記載する。

※ 天然更新による造林において、天然更新補助作業がある場合は、補助作業の内容を備考欄に記載する。

※ 造林後に実施する下刈りについては、下刈りの面積を備考欄に記載する。また、既に植栽済みの箇所において下刈りを実施する場合は、事業実施年度、所在場所、造林の内容（植栽時期を除く。）及び対図番号又は林小班名の欄に当該植栽に係る該当事項を括弧書きで記載する。

(3) その他間伐及び造林に関する事項

事業実施主体	事業実施年度	所在場所		内容	交付金希望	備考
		都道府県	市町村(郡)			

※ 普及活動等ソフト的取組に関する事項を記載。

(4) 作業路網

事業実施主体	事業実施年度	路網起点				路網終点				路線名	路網整備の内容		対図番号又は林小班名	交付金希望	備考
		都道府県	市町村	字(大字)又は林班	地番又は小班	都道府県	市町村	字(大字)又は林班	地番又は小班		開設延長	幅員			

(5) その他施設

事業実施主体	事業実施年度	所在場所				施設名	数量	対図番号又は林小班名	交付金希望	備考
		都道府県	市町村(郡)	字(大字)又は林班	地番又は林小班					

※ 土場、植栽時に設置するシカ防止ネット等の施設の設置等を記載する。

(6) 事業実施箇所

- (国土地理院 1 / 25000 地勢図相当の図面又は 1 / 5000 森林基本図に図示)
- ・ 特定間伐等促進計画の区域を図示した上で事業実施箇所を図示
 - ・ 対図番号又は林小班名を表示

- 4 特定植栽促進区域
都道府県の基本方針に定められた特定植栽促進区域のうち、本市における特定植栽促進区域の範囲は別図のとおりとする。
注) 2の図面に併せて図示すること。
- 5 特定植栽事業の実施方法
 - (1) 植栽すべき特定苗木の種類
 - (2) 特に実施すべき造林の方法等の特定植栽事業の実施方法に関すること。
- 6 特定植栽事業の実施の促進のための方策
 - (1) 現地検討会の開催等による特定植栽事業に関する技術の普及に関すること。
 - (2) 集落説明会の開催等の特定植栽事業の情報提供に関すること。
- 7 森林経営計画等に基づく森林施業、森林施業の共同化等の推進
 - (1) 森林経営計画の作成及びこれに基づく間伐等の森林施業の推進並びに提案型施業の実施の推進に関すること。
 - (2) 施業の集約化に必要な森林情報の収集、境界の確認、森林所有者等の合意形成等の活動の推進に関すること。
- 8 路網の整備の推進、間伐等の効率化・低コスト化の推進
 - (1) 路網の整備の推進に関すること。
 - (2) 高性能林業機械等を活用した低コストで高効率な作業システムの整備、普及及び定着に関すること。
 - (3) コンテナ苗の活用等による造林・保育の低コスト化の推進に関すること。

9 間伐材の利用の推進

(1) 間伐材の供給及び利用に携わる関係者間の合意形成の構築の推進に関する事。

(2) 長期的な木材需給に係る協定の締結等による間伐材の安定供給体制の構築の推進に関する事。

10 人材の育成・確保等

(1) 間伐や路網作設等を適切に行える現場技能者等及び林業事業体の育成確保に関する事。

(2) 林業事業体に対する経営手法・技術の普及指導等に関する事。

(別記様式1-2) 造林に関する計画のうち特定植栽に関するもの

事業実施主体	事業実施年度	森林の所在場所				森林所有者	森林の現況	植栽の内容				保育等の内容		対図番号又は林小班名	交付金希望	備考	
		都道府県	市町村(郡)	字(大字)又は林班	地番又は林小班			植栽面積(ha)	植栽期間	苗木の種類	植栽本数(本/ha)	実施時期	実施方法				

(別記様式2)

特定増殖事業計画

氏名 (法人にあつては名称)
 及び代表者の氏名
 ○年 ○月 ○日

1 特定増殖事業の目標

森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法第4条第1項の規定により定められた本県の基本方針においては、増殖した特定母樹（以下「増殖特定母樹」という。）の採取源の整備を行うことが目標に掲げられており、県下の増殖特定母樹により構成された採種園及び採穂園における整備の規模は、スギ採種園を構成する特定母樹の本数○○本、スギ採穂園を構成する特定母樹の本数○○本となっている。

このため、本特定増殖事業において、特定母樹合計○○本のスギ採種園及び特定母樹合計○○本のスギ採穂園の整備を行うことを目標とする。

2 特定増殖事業の実施計画

(1) 増殖する特定母樹の種類、特定母樹を繁殖する方法	樹種	○ ○ (例：スギ)								
	種類数	○ 種類 (例：9種類)								
	種類名	特定○○号	特定○○号	特定○○号	特定○○号	特定○○号	特定○○号	特定○○号	特定○○号	特定○○号
繁殖に使用する種穂又は苗木別の本数	穂木					○○本	○○本	○○本	○○本	○○本
	苗木	○○本	○○本	○○本	○○本					
入手先		○○ (例：(研究) 森林総合研究所林木育種センター)								
繁殖の方法別の繁殖予定数量	挿し木	○○本	○○本	○○本	○○本	○○本	○○本	○○本	○○本	○○本
	接ぎ木	○○本	○○本							
	その他(組織培養等)							(例：組織培養) ○○本	(例：組織培養) ○○本	
繁殖するための施設等	挿し木	○○ (例：温室)	○○ (例：露地)	○○	○○	○○	○○	○○	○○	○○
	接ぎ木	○○ (例：苗畑)	○○ (例：苗畑)	○○	○○	○○	○○	○○	○○	○○

	その他（組織培養等）							培養室（組織培養）	培養室（組織培養）	
(2) 母樹を植栽する土地の所在地	採種園	〇〇市町村（郡） 〇〇字（大字） 〇〇地番								
	採穂園	〇〇市町村（郡） 〇〇字（大字） 〇〇地番								
(3) 母樹を植栽する土地の面積	採種園	ha								
	採穂園	ha								
	合計	ha								
(4) 植栽する母樹の本数	採種園	本								
	採穂園	本								
	合計	本								

※ 特定母樹の樹種ごとに作成する。

(1)については、増殖する特定母樹の種類ごとに、特定母樹を繁殖する方法を記載する。

(2)については、母樹を鉢等で管理する場合は、管理する所在地を記載する。

(5) 植栽する母樹の配置に関する計画

※ 採種園又は採穂園の別、植栽間隔、植栽本数、面積等の具体的内容を記載するとともに、設計図を添付する。

【スギミニチュア採種園】（記載例）

- ・ 9種類の母樹の単木混交配置によるスギミニチュア採種園を造成。
- ・ 母樹の植栽間隔は、1.2mとし、1ブロック当たり72本の3ブロックを順次造成。
- ・ 母樹の植栽本数計 216本（72本×3ブロック）
- ・ 面積計 388.8m²
- ・ 母樹の配置は、下記設計図のとおり。

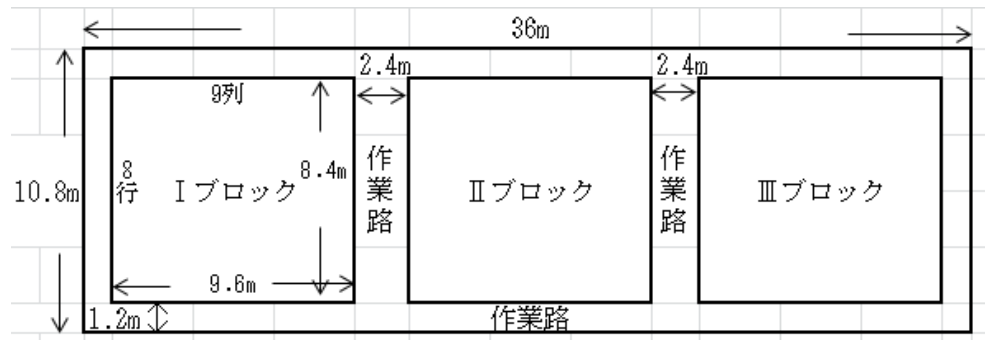
○ 1ブロック当たりで植栽する母樹

母樹の名称	配置図番号	植栽本数
特定〇〇〇号	①	7
特定〇〇〇号	②	7
特定〇〇〇号	③	7
特定〇〇〇号	④	8
特定〇〇〇号	⑤	8
特定〇〇〇号	⑥	8
特定〇〇〇号	⑦	9
特定〇〇〇号	⑧	9
特定〇〇〇号	⑨	9

○ ブロックの配置図

	1列	2列	3列	4列	5列	6列	7列	8列	9列
1行	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	④	⑤	⑥
2行	⑦	⑧	⑨	①	②	③	⑦	⑧	⑨
3行	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③
4行	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	④	⑤	⑥
5行	⑦	⑧	⑨	①	②	③	⑦	⑧	⑨
6行	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③
7行	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	④	⑤	⑥
8行	⑦	⑧	⑨	①	②	③	⑦	⑧	⑨

○ スギミニチュア採種園全体の設計図



【スギミニチュア採種園】（記載例（交配により優良樹木が生じることが明らかな場合））

- ・ 2種類の母樹の単木混交配置によるスギミニチュア採種園を造成。
- ・ 母樹の植栽間隔は、1.2mとし、1ブロック当たり49本の3ブロックを順次造成。
- ・ 母樹の植栽本数計 147本（49×3ブロック）
- ・ 面積計 276.48m²
- ・ 母樹の配置は、下記設計図のとおり。

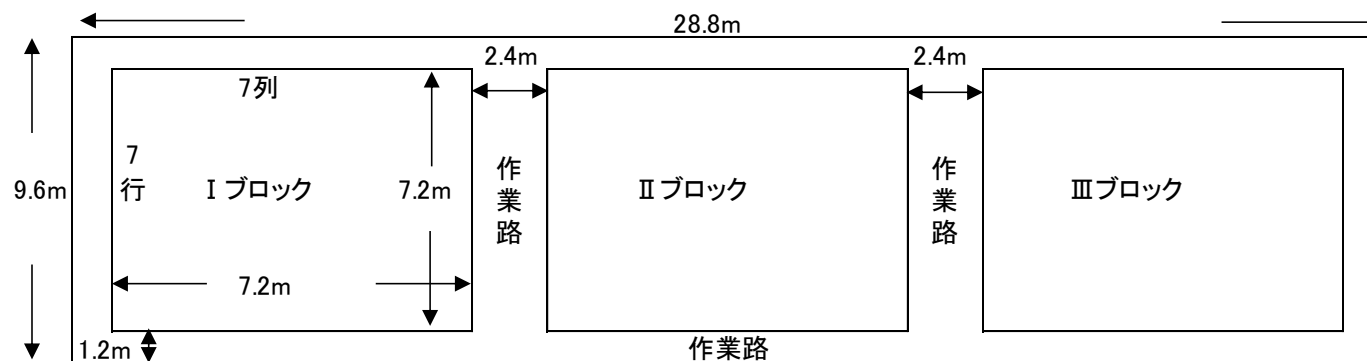
○ 1ブロック当たりで植栽する母樹

母樹の名称	配置図番号	植栽本数
特定〇〇〇号	①	25
特定〇〇〇号	②	24

○ ブロックの配置図

	1列	2列	3列	4列	5列	6列	7列
1行	①	②	①	②	①	②	①
2行	②	①	②	①	②	①	②
3行	①	②	①	②	①	②	①
4行	②	①	②	①	②	①	②
5行	①	②	①	②	①	②	①
6行	②	①	②	①	②	①	②
7行	①	②	①	②	①	②	①

○ スギミニチュア採種園全体の設計図



【スギ採穂園】（記載例）

- ・ 9種類の母樹によるスギ採穂園を造成。
- ・ 母樹1種類当たり、10本のクローンを列状に植栽。
- ・ 植栽間隔は、1.2mとし、計90本の母樹を植栽。
- ・ 面積計 158.4m²
- ・ 母樹の配置は、下記設計図のとおり。

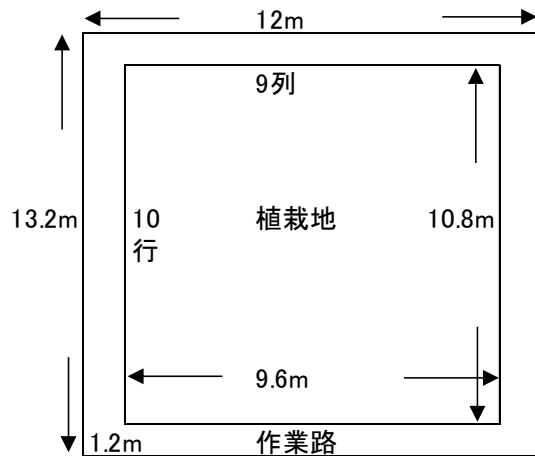
○ 植栽する母樹の種類、植栽本数

母樹の名称	配置図番号	植栽本数
特定〇〇〇号	①	10
特定〇〇〇号	②	10
特定〇〇〇号	③	10
特定〇〇〇号	④	10
特定〇〇〇号	⑤	10
特定〇〇〇号	⑥	10
特定〇〇〇号	⑦	10
特定〇〇〇号	⑧	10
特定〇〇〇号	⑨	10

○ 配置図

	1列	2列	3列	4列	5列	6列	7列	8列	9列
1行	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
2行	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
3行	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
4行	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
5行	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
6行	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
7行	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
8行	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
9行	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
10行	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

○ スギ採種園全体の設計図



(6) 植栽する母樹の管理に関する計画

※ 植栽する母樹の管理に関する具体的な内容を記載する。また、植栽からの年度ごとの予定を記載する。

(スギミニチュア採種園を造成する場合の記載例)

○ 管理の具体的な計画

① 植栽

- ・周囲 500m のスギが植栽されていない場所に、母樹を植栽することとする。更に、採種園の周囲を囲むように、ヒノキを植栽することとする。
- ・系統管理は、特定母樹の種類を記載したラベルを単木ごとに樹幹に付けることにより行う。

② 育成

- ・植栽後、適宜、施肥、病虫害防除等の薬剤散布を実施する。

③ 樹形誘導

- ・除草や整枝剪定等の管理、種子採取等の作業を考慮して、断幹高の目安を 100cm とし、立上りの枝を含めた採種時の樹高の目安を 120cm とする。

④ 着花促進

- ・着花促進処理として、ジベレリン溶液の散布を実施する。

⑤ 種子の採取

- ・種子の採取は、林業種苗法第 23 条の規定により指定された時期に種子が十分に硬熟した段階で実施する。なお、採種は種子が着果している枝を採取することとするが、この際、採種木への影響を極力少なくすることとし、枝の取過ぎに注意することとする。

⑥ 整枝剪定

- ・萌芽枝の発生を促進するよう、適期に整枝剪定を行うこととする。

⑦ 採種のサイクル

- ・採種は、ブロックごとに、3年に1度とする。

○ 植栽からの年度ごとの予定スケジュール

	年次	1	2	3	4	5	6	7
	年度							
Ⅰブロック	作業種	植栽	育成	着花促進	採種	剪定	着花促進	採種
	採種	-	-	-	1回目	-	-	2回目
Ⅱブロック	作業種	-	植栽	育成	着花促進	採種	剪定	着花促進
	採種	-	-	-	-	1回目	-	-
Ⅲブロック	作業種	-	-	植栽	育成	着花促進	採種	剪定
	採種	-	-	-	-	-	1回目	-

3 母樹を植栽する土地の状況（法第9条第2項第3号に規定する場合に記入）

※ 伐採する森林の所在場所は、林小班まで、伐採する森林ごとに記載する。

特定増殖事業者と森林所有者等が異なる場合は、当該森林の使用についての森林所有者の同意書等を添付するものとする。

伐採する森林の所在場所	〇〇市町村（郡）〇〇字（大字）〇〇地番 〇〇林班 〇〇小班
森林所有者等の氏名（法人にあっては名称及び代表者）・住所	
伐採面積	ha
伐採樹種	
伐採採齢	
伐採の期間	
集材方法	集材路・架線・その他（ ）
集材路の予定幅員・延長	幅員 m ・ 延長 m

4 増殖特定母樹から採取する種穂及び育成する特定苗木の配布の計画

配布する種苗の種類	配布予定時期	種子の精選の有無	配布予定先（事業者名）	配布予定数量
種子				
穂木		-		
苗木		-		

※ 配布予定先の事業者が未定の場合は、配布予定の都道府県名を記載する。

※ 特定苗木を配布する場合は以下も記載する。

苗木の育成の場所	〇〇市町村（郡）〇〇字（大字）〇〇地番
苗畑面積等	

5 特定増殖事業の実施時期

※ 特定増殖事業の全体の実施期間を記載する。

年 月 日～ 年 月 日

※ 特定増殖事業開始からの作業工程ごとの予定スケジュールを記載する。

(スギミニチュア採種園を造成する場合の記載例)

年次	1	2	3	4	5	6	7	8
年度								
特定母樹の繁殖		→						
植栽予定地の 森林の伐採		→	→	→				
母樹の植栽			→	→	→			
母樹の育成								→
種子の採取							→	
種子の配布							→	

6 特定増殖事業を実施するために必要な資金額及びその調達方法

※ 特定増殖事業で必要となる施設・作業種等の種類ごとに記載する。

施設・作業 種等の種類	予定 年度	資金調達先別金額（千円）				合計
		自己資金	林業・木材 産業改善資金	その他借入金	その他 (補助金等)	

(別記様式3)

特定植栽事業計画

氏名〔法人にあつては名称〕
及び代表者の氏名〕
○年○月○日

1 特定植栽事業の目標

2 特定植栽事業の内容及び実施期間

(1) 特定苗木の種類及び調達に関する事項

(2) 特定植栽事業の実施計画

① 特定苗木を植栽する森林の所在場所別の植栽等の実施計画

事業実施主体	事業実施年度	森林の所在場所				森林所有者	森林の現況	植栽の内容				保育等の内容		鳥獣害対策	備考
		都道府県	市町村(郡)	字(大字)又は林班	地番又は林小班			植栽面積(ha)	植栽時期	苗木の種類	植栽本数(本/ha)	実施時期	実施方法		

(注)

1. 森林の所在場所欄は、同一地番の森林について、その森林の現況を異にするものがある場合には、その同一地番の森林をその現況ごとに区分し、その区分した森林につき連続番号を付してこれを地番の欄に併記すること（その区分した森林が森林簿の林班、小班に一致するときは、その林班、小班の記号を用いる）。
2. 森林所有者欄には、申請者と当該森林の森林所有者が異なる場合に、当該森林所有者の氏名又は名称及び住所を記載すること。
3. 事業実施主体欄には、施業の種類によって主体が異なる場合には、行を分けて記載すること。
4. 森林の現況欄には、森林、伐採跡地等の土地の現況について記載すること。
5. 植栽面積欄は、実測又は見込みによりヘクタールを単位とし小数第4位まで記載するとともに、特定植栽のための伐採後に植栽する場合は、当該伐採に係る面積と一致するよう記載すること。また、複数の樹種を植栽する場合には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

6. 植栽時期欄には、植栽を開始する年月日から、植栽を終了する年月日までを記載すること。
7. 苗木の種類欄には、スギ、ヒノキ、カラマツ、トドマツ等の樹種及び特定苗木の種類のほか、コンテナ苗・裸苗の別を記載すること。
なお、特定植栽事業計画の対象森林に局所的に尾根部のような特定苗木の植栽に適さない箇所が含まれる場合、当初計画していた数量の特定苗木が調達できなかった場合等のやむを得ない事由があるときは、特定苗木以外の苗木を植栽することも差し支えないものとする。
8. 保育等の内容欄には、下刈り等の保育、実施時期、実施方法について記載すること。
9. 特定植栽事業計画の作成時に地番等の箇所別の植栽等の事項を確定させることができない場合は、森林の所在場所欄の林小班等欄に森林の区域（林班程度）を記載するとともに、森林所有者、事業実施主体、植栽計画及び保育計画等については事業計画作成時点において把握している事項について記載すること。

② 特定植栽のための伐採の実施計画

事業実施主体	事業実施年度	森林の所在場所				森林の現況				森林所有者	特定植栽のための伐採を行う場合の伐採計画							備考
		都道府県	市町村(郡)	字(大字)又は林班	地番又は林小班	面積(ha)	樹種	林齢	立木材積(m ³)		伐採面積(ha)	伐採方法	伐採率(%)	伐採立木材積(m ³)	伐採の期間	集材方法	集材路の予定幅員・延長	

(注)

1. 森林の所在場所欄は、同一地番の森林について、その森林の現況を異にするものがある場合には、その同一地番の森林をその現況ごとに区分し、その区分した森林につき連続番号を付してこれを地番の欄に併記すること（その区分した森林が森林簿の林班、小班に一致するときは、その林班、小班の記号を用いる）。
2. 森林所有者欄には、申請者と当該森林の森林所有者が異なる場合に、当該森林所有者の氏名又は名称及び住所を記載すること。
3. 面積欄、伐採面積欄は、実測又は見込みによりヘクタールを単位とし小数第4位まで記載すること。
4. 伐採の方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

5. 樹種欄は、スギ、ヒノキ、カラマツ、トドマツ等の樹種を記載すること。
6. 林齢欄は、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの林齢を記載し、最も林齢の低いものの林齢と最も林齢の高いものの林齢とを「(○～○)」のように記載すること。
7. 伐採の期間が1年を超える場合においては、伐採の期間欄は年次別に記載すること。
8. 集材方法欄は、集材路、架線、その他の別を記載すること。
9. 事業計画の作成時に地番等の箇所別の伐採に関する事項を確定させることができない場合は、森林の所在場所欄の林小班等欄に森林の区域（林班程度）を記載するとともに、森林所有者、事業実施主体、伐採計画等については事業計画作成時点において把握している事項について記載すること。

③ 特定植栽事業の計画量

(単位：ha)

特定苗木の種類	植栽面積					
	年度	年度	年度	年度	年度	合計
合計						

(3) 特定植栽事業の実施期間

年 月 日から 年 月 日まで

3 特定植栽事業を実施するために必要な資金額及びその調達方法

機械・事業等の種類	予定年度	資金調達先別金額 (千円)				合計
		自己資金	林業・木材産 業改善資金	その他 借入金	その他 (補助金等)	
合計						

(注)

1. 補助金等及びその他借入金については、計画申請時点における予定を記載すること。
2. 特定植栽事業に必要となる機械・事業等の種類ごとに記載すること。

4 その他

(1) 特定植栽等に係る森林の権原を取得していることを証する書類

(注) 自己が所有する森林以外で計画を作成する場合は、当該森林について権原を有していることを証する書類を添付すること（同意書、契約書等）

(2) 造林事業に関する実績

(注) 直近3カ年程度の造林事業の実績を記載すること。

(別記様式 4)

特定増殖事業計画認定申請書

○年○月○日

都道府県知事 殿

(申請者)

住所 (法人にあつては名称
氏名 及び代表者の氏名)

森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法第 9 条第 1 項の規定に基づき、別添の特定増殖事業計画の認定を申請します。

(別記様式 5)

特定増殖事業計画変更認定申請書

○年○月○日

都道府県知事 殿

(申請者)

住所 〔 法人にあつては名称 〕
氏名 〔 及び代表者の氏名 〕

○年○月○日付けで認定を受けた特定増殖事業計画について、下記のとおり変更したく、森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法第 10 条第 1 項の規定に基づき申請します。

記

1. 変更内容

2. 変更理由

(注) 認定特定増殖事業計画書より変更部分を転写し、朱書訂正したものを添付すること。

(別記様式 6)

番 号
○年○月○日

(申請者) 殿

都道府県名
知 事 名

特定増殖事業計画認定通知書

○年○月○日付けで申請のあった特定増殖事業計画について、認定することを通知します。

併せて、森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法施行規則第 7 条の登録証を送付します。

(別記様式7)

特定植栽事業計画認定申請書

年 月 日

都道府県知事 殿

(申請者)

住所 〔法人にあつては名称〕
氏名 〔及び代表者の氏名〕

森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法第 14 条第 1 項の規定に基づき、別添の特定植栽事業計画の認定を申請します。

(別記様式 8)

特定植栽事業計画変更認定申請書

年 月 日

都道府県知事 殿

(申請者)

住所 〔 法人にあつては名称 〕
氏名 〔 及び代表者の氏名 〕

○年○月○日付けで認定を受けた特定植栽事業計画について、下記のとおり変更したく、森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法第 15 条第 1 項の規定に基づき申請します。

記

1. 変更内容

2. 変更理由

(注) 認定特定植栽事業計画書から変更部分を転写し、朱書訂正したものを添付すること。

(別記様式9)

番 号
年 月 日

(申請者) 殿

都道府県名
知 事 名

特定植栽事業計画認定通知書

○年○月○日付けで申請のあった特定植栽事業計画について、認定することを通知します。

(別記様式 10)

伐採及び伐採後の植栽に係る森林の状況報告書

年 月 日

市町村長 殿

住所

報告者 氏名 (法人にあつては名称)
(及び代表者の氏名)

○年○月○日付けで認定を受けた特定植栽事業計画に係る森林につき次のとおり伐採及び伐採後の植栽を実施したので、森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法第 17 条第 2 項の規定により報告します。

1. 森林の所在場所

市	町			
		大字	字	地番
郡	村			

2. 伐採の実施状況

伐採面積				ha
伐採方法	皆伐・択伐	伐採率	%	
伐採樹種				
伐採の期間				
集材方法	集材路・架線・その他 ()			
集材路の幅員・延長	幅員	m	・ 延長	m

3. 伐採後の植栽の実施状況

植栽の期間	植栽樹種	樹種別の植栽面積	樹種別の植栽本数	鳥獣害対策

4. 備考

--

注意事項

1. 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。

2. 森林の所在場所ごとに記載すること。
3. 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
4. 樹種は、スギ、ヒノキ、カラマツ、トドマツ等の樹種を記載すること。
5. 伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
6. 植栽の実施状況欄には、複数の樹種を植栽したときは、植栽樹種、樹種別の植栽面積及び樹種別の植栽本数欄には、植栽した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。